



長江デルタ地域における危険廃棄物関連規制の現状と動向

2020 年 3 月

日本貿易振興機構（ジェトロ） 上海事務所

～はじめに～

中国では環境規制が厳しくなっており、中国に進出日系企業にとって大きな課題となっている。上海市をはじめとする長江デルタ地域では危険廃棄物を排出する企業及び回収・処理企業に対する規範化管理を強化している。

本レポートでは、上海市、江蘇省、浙江省、安徽省の危険廃棄物関連法規や政策、処理実態、処罰事例などの最新動向について紹介する。

【免責条項】

本調査レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご利用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本調査レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。なお、本調査レポートはジェトロ上海事務所が上海太比雅科技有限公司に委託し実施したものです。

禁無断転載

目次

1. 対象省市における危険廃棄物関連法規・政策	1
1.1 上海市における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向	1
1.2 江蘇省における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向	2
1.3 浙江省における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向	2
1.4 安徽省における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向	3
2. 危険廃棄物の処理実態	4
2.1 上海市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状	4
2.2 江蘇省における危険廃棄物の排出量と処理量の現状	6
(1) 蘇州市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状	6
(2) 無錫市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状	7
(3) 南通市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状	8
2.3 浙江省	9
(1) 寧波市	9
(2) 杭州市	10
2.4 安徽省（合肥市）	11
3. 地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況	12
3.1 上海市の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況	13
3.2 江蘇省の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況	14
3.3 浙江省の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況	14
3.4 安徽省の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況	15
3.5 危険廃棄物の地域を跨ぐ移転に関する最新政策動向	15
4. 危険廃棄物関連処罰事例	16
① 江蘇省泰興市友聯差精細化工有限公司の危険廃棄物の不法投棄案件	16
② 海安市角斜鎮何通本昇生物科技有限公司 危険法廃棄物の不法投棄案件	17
③ 江蘇省儀征市中国石化儀征化織有限責任会社の危険廃棄物の不法貯蔵案件	17
④ 江蘇武進不銹股份有限公司の露天貯蔵案件	18
⑤ 上海雲瀛複合材料有限公司が処理資格のない企業に危険廃棄物処理を委託した違法案件	18
5. 企業へのアドバイス	19
6. 危険廃棄物処理機構リスト	20

1. 対象省市における危険廃棄物関連法規・政策

1.1 上海市における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向

環境規制が厳しくなる中、上海市は危険廃棄物を排出する企業及び回収・処理企業に対する規範化管理を強化している。小規模企業が抱えている少量危険廃棄物の処理が困難であるという問題を解決し、環境リスクを防止するために、2019年3月に上海市生態環境局は「上海市産業園区小規模企業危険廃棄物集中収集プラットフォーム管理弁法」を公表した。同弁法では、当該プラットフォームの資質を持っている運営機構は、産業園区内の危険廃棄物の年間排出量が10トン以下の小規模企業から排出された危険廃棄物と廃鉛蓄電池などの危険廃棄物を回収できると定めている。

図表 1-1-1 上海市における危険廃棄物関連法規・政策

政策名称	公布時期	公布部門
上海市環境保護条例	2017年改定	上海市人大常務委員会
上海市危険廃棄物汚染防止弁法	1995年1月	上海市政府
上海市危険廃棄物全過程管理の更なる強化に関する通知 ¹	2014年8月	上海市環境保護局
上海市一般工業固形廃棄物環境管理の強化に関する通知 ²	2015年9月	上海市環境保護局
上海市危険廃棄物の排出企業の環境管理の更なる強化に関する通知	2016年7月	上海市環境保護局
上海市固形廃棄物の省・市を超えた移転関連審査・許可の調整に関する通知	2016年8月	上海市環境保護局
上海市危険廃棄物の市内移転マニフェストの管理をさらに強化することに関する通知	2016年9月	上海市環境保護局
上海市産業園区危険廃棄物回収・貯蔵・移転施設管理弁法（試行）	2016年10月	上海市環境保護局
危険廃棄物処理と収集企業の市場行為の更なる規範化とサービス品質の向上に関する通知 ³	2018年3月	上海市環境保護局、市物価局
上海市危険廃棄物経営企業基礎台帳のオンライン報告関連事項に関する通知 ⁴	2018年9月	上海市環境保護局
上海市産業園区小規模企業危険廃棄物集中収集プラットフォーム管理弁法 ⁵	2019年3月	上海市生態環境局
上海市市危険廃棄物综合利用経営企業の製品環境管理の更なる強化に関する通知 ⁶	2019年8月	上海市生態環境局

出所：上海市政府各機関の公開情報に基づき、ジェトロ作成

¹ <http://www.sepb.gov.cn/fa/cms/xxgk/AC45/AC4503000/AC4503002/2014/08/87266.htm>

² <http://www.sepb.gov.cn/fa/cms/xxgk/AC45/AC4503000/AC4503002/2016/07/93359.htm>

³ <http://sthj.sh.gov.cn/shhj2272/shhj2158/2018/03/98617.htm>

⁴ <http://sthj.sh.gov.cn/shhj2272/shhj2158/2018/09/100480.htm>

⁵ <http://sthj.sh.gov.cn/shhj3022/2019/04/101934.htm>

⁶ <http://sthj.sh.gov.cn/shhj2272/shhj2158/2019/08/102903.htm>

1.2 江蘇省における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向

第2次産業が盛んであり、危険廃棄物の排出大省でもある江蘇省は近年、中央政府による廃棄物環境汚染防止の強化に伴い、固形廃棄物環境汚染保護条例を改定し、危険廃棄物の取り扱い事業者の危険廃棄物貯蔵、省を跨ぐ移転、工業園區危険廃棄物の集中管理及び危険廃棄物の集中焼却処理産業の規範化を強化している。特に2018年11月、江蘇省政府は「危険廃棄物汚染防止事業の強化に関する通知」を公表し、2020年までに、全省で、基本的に経済と社会発展に適合する危険廃棄物の処理システムを構築し、処理能力と実際のニーズを基本的に一致させる目標を定めた。同通知には、危険廃棄物の年間排出量が500トン以上で、かつ同年度の危険廃棄物の処理先が決まっておらず、または危険廃棄物の貯蔵量が2000トン以上である化工企業に対して、期限を定めて是正を要求し、期限内に是正できなかった場合は、法に基づき処罰する旨の内容が盛り込まれている。

図表 1-2-1 江蘇省における危険廃棄物関連法規・政策

政策名称	公布時期	公布部門
江蘇省循環経済促進条例	2015年制定 (2015年施行)	江蘇省人大常務委員会
江蘇省固形廃棄物環境汚染保護条例	2017年改正	江蘇省人大常務委員会
危険廃棄物経営事業者による危険廃棄物の期限を越える貯蔵の環境管理の強化に関する通知	2015年1月	江蘇省環境保護庁
江蘇省固形(危険)廃棄物の省を超える移転に関する審査・認可プロセスに関する通知	2015年11月	江蘇省環境保護庁
江蘇省工業園區危険廃棄物集中回収貯蔵テスト方案の印刷・配布に関する通知	2017年5月	江蘇省環境保護庁
江蘇省危険廃棄物集中焼却処理産業環境管理事業の更なる規範化に関する通知	2018年9月	江蘇省環境保護庁
危険廃棄物汚染防止事業の強化に関する通知 ⁷	2018年11月	江蘇省政府弁公庁
江蘇省危険廃棄物集中処理施設建設方案 ⁸	2018年11月	江蘇省政府弁公庁

出所：江蘇省政府各機関の公開情報に基づきジェトロまとめ

1.3 浙江省における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向

2013年、中国最高人民法院と検査院は共同で「環境汚染刑事事件への法律適用の若干の問題に関する解釈」を公表し、危険廃棄物の環境汚染への監督管理に関して、さらに厳格な関連法規の適用の要求を提出した。これを受けて、浙江省政府弁公庁は2014年1月に、「危険廃棄物と汚泥処理への監督管理事業の更なる強化に関する意見」を打ち出した。その後、浙江省環境保護庁(当時)は2017年に、「危険廃棄物移転途中における環境監督管理の更なる強化に関する通知」、「危険廃棄物の処理への監督管理事業の更なる規範化に関する通知」を公表し、危険廃棄物の移転、処理による環境汚染リスクの拡大防止策に取り込んできた。2019年に、浙江省生態環境庁は「浙江省危険廃棄物利用処理施設建設計画の改訂

⁷ http://www.jiangsu.gov.cn/art/2018/11/19/art_46144_7884161.html

⁸ http://www.jiangsu.gov.cn/art/2018/11/19/art_46144_7884161.html

(2019－2022年)」及び「浙江省工業固形廃棄物専門整備行動方案」を打ち出し、今後の危険廃棄物利用処理施設の建設を促進するとともに、危険廃棄物を含む工業固形廃棄物による環境汚染に対する規制を一層強化する動きが見られる。

図表 1-3-1 浙江省における危険廃棄物関連法規・政策

政策名称	公布時期	公布部門
危険廃棄物鑑別管理プロセスの規範化に関する通知	2013年2月	浙江省環境保護庁
危険廃棄物と汚泥処理への監督管理事業の更なる強化に関する意見	2014年1月	浙江省政府弁公庁
危険廃棄物移転途中における環境監督管理の更なる強化に関する通知 ⁹	2017年1月	浙江省環境保護庁
危険廃棄物の処理に関する監督管理事業の更なる規範化に関する通知 ¹⁰	2017年6月	浙江省環境保護庁
浙江省固形廃棄物環境汚染防止条例	2018年改定	浙江省人大常務委員会
工業固形廃棄物の環境管理の更なる強化に関する通知 ¹¹	2019年1月	浙江省生態環境庁
浙江省危険廃棄物利用処理施設建設計画の改訂(2019－2022年)(意見徴収稿)	2019年3月	浙江省生態環境庁
浙江省工業固形廃棄物専門整備行動方案 ¹²	2019年11月	浙江省生態環境庁

出所：浙江省政府各機関の公開情報に基づきジェトロまとめ

1.4 安徽省における危険廃棄物関連法規・政策の最新動向

安徽省の危険廃棄物排出量は比較的少なく、2017年度の排出量は50万トン以下であったが、同年度の省外からの移入量は100万トンを上回った。そのため、省を跨ぐ危険廃棄物の移転による環境汚染リスクが大きいと見られている。特に2017年後半、安徽省銅陵市で、省外から危険廃棄物が長江ダムに運ばれて投棄された大規模な環境汚染事故が発生した。安徽省は省内の危険廃棄物の環境汚染防止策を強化するとともに、省外からの危険廃棄物の移入に対する規制を強化する必要性が出てきている。

近年、安徽省は「危険廃棄物環境監督管理の更なる強化に関する通知」(2017年)、「固形廃棄物汚染予防と制御のための長期的で効果的なメカニズムの確立に関する意見」(2018年)、「安徽省固形廃棄物発生源管理規制実施弁法の印刷・配布に関する通知」(2018年)などを公表し、危険廃棄物による環境汚染への監督管理を強化するとともに、再生利用目的の危険廃棄物の省外からの移入に対し厳しい数量規制策を執行し、省外からの危険廃棄物の焼却、乾燥、再資源化、埋め立てを目的とする安徽省への移入を禁止する政策を打ち出した。

⁹ http://www.zjepb.gov.cn/art/2017/5/19/art_1201909_13849816.html

¹⁰ http://www.zjepb.gov.cn/art/2018/3/16/art_1475745_108.html

¹¹ http://sthjt.zj.gov.cn/art/2019/1/11/art_1475745_129.html

¹² http://sthjt.zj.gov.cn/art/2019/11/19/art_1694103_40430169.html

図表 1-4-1 安徽省における危険廃棄物関連法規・政策

政策名称	公布時期	公布部門
安徽省環境保護条例	2017年改定	安徽省人大常務委員会
安徽省第十三次五ヵ年危険廃棄物汚染防止計画	2017年8月	安徽省環境保護庁
危険廃棄物環境監督管理の更なる強化に関する通知 ¹³	2017年11月	安徽省環境保護庁
安徽省系統化環境監督管理固形廃棄物監督管理実施弁法	2017年12月	安徽省環境保護庁
固形廃棄物汚染予防と制御のための長期的で効果的なメカニズムの確立に関する意見 ¹⁴	2018年6月	安徽省環境保護庁
安徽省環境保護地域認可制限管理弁法	2018年10月	安徽省環境保護庁
安徽省固形廃棄物発生源管理規制実施弁法の印刷・配布に関する通知 ¹⁵	2018年11月	安徽省環境保護庁

出所：安徽省政府各機関の公開情報に基づきジェトロまとめ

2. 危険廃棄物の処理実態

各省市が公表している「環境状況公開報告」または「国家統計年鑑」の各省市の危険廃棄物に関する統計データはすべて企業の自己申告のデータであり、企業は危険廃棄物の処理費用の支出負担を削減するために、実際の処理量より少なく申告することがあると考えられている。2016年、中国中央政府は中央環境監査をスタートさせ、こうした危険廃棄物の過少申告や不法投棄の状況に対して一段と取締りを強化した。今回の調査対象省市においても2017年の危険廃棄物の排出量が大幅に増えたのは、2016年の中央政府の環境監督検査の影響であると見られる。また、調査対象省市の危険廃棄物の処理率（総合利用率と処理率の合計）は各省市の公表データでは80%から100%となっているが、後で見るように一部の企業で排出した危険廃棄物を法に基づき申告せずに不法投棄を行っている事例もあり、実際の処理率は公表データよりやや低い可能性がある。

2.1 上海市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状

近年、上海市における危険廃棄物の排出量は、2016年の中央環境監査を受けて、2017年には大幅に増加し、2018年には123.72万トンに達した。2018年の上海市における危険廃棄物のうち、排出企業が外部に利用・処理を依頼したのは73.30万トンで自ら利用・処理した量は47.85万トンであった。

¹³ <http://www.aepb.gov.cn/pages/ShowNews.aspx?NType=2&NewsID=157585>

¹⁴ <http://c.360webcache.com/c?m=a3bff592a807bce08ef2128d19e2cff5&q>

¹⁵ <http://sthjt.ah.gov.cn/pages/ShowNews.aspx?NType=2&NewsID=162244>

図表 2-1-1 上海市における危険廃棄物の排出量と処理状況の推移(万トン)¹⁶

項目	排出量	利用・処理量			保管量
			利用 ¹⁷ 量	処理 ¹⁸ 量	
2014年	62.84	62.52	26.79	35.73	1.13
処理方式の割合	—	98.2%	53.48%	46.69%	1.8%
2015年	56.94	56.19	25.77	30.42	1.21
処理方式の割合	—	98.26%	45.23%	53.03%	2.13%
2016年	62.17	61.94	28.94	33	1.14
処理方式の割合	—	99.63%	46.55%	53.08%	1.80%
2017年	122.79	120.02	—	—	2.77
処理方式の割合	—	97.74%	—	—	2.26%
2018年	123.72	121.15	—	—	2.57
処理方式の割合	—	97.92%	—	—	2.08%

出所：上海市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

2018年、上海市の危険廃棄物の排出量のトップ10の企業による合計排出量は57.19万トンに達しており、上海市の発生総量の46.2%を占めている。これらの企業により排出された危険廃棄物の8割程度は、排出企業自身により再利用または処理されている¹⁹。

図表 2-1-2 2018年上海市の危険廃棄物主要排出企業（トップ10）

番号	企業名	排出量 (万トン)	自己利用・処理量 (万トン)	利用・処理を外部 に委託した量(万 トン)
1	上海賽科石油化工有限責任公司	27.94	27.35	0.59
2	中国石化上海石油化工有限公司	9.30	7.90	1.40
3	科思創聚合物(中国)有限公司	4.53	4.12	0.41
4	宝武炭材料科技有限公司	3.83	3.83	0.0
5	巴斯夫(BASF)化工有限公司	2.84	2.26	0.58
6	宝山鋼鐵股份有限公司	1.97	0.30	1.67
7	奧特斯(中国)有限公司	1.91	0	1.91
8	上海華誼能源化工有限公司	1.72	0	1.72
9	上海天馬再生能源有限公司	1.64	0	1.64
10	上海老港固废綜合開發有限公司	1.51	0	1.51
	合計	57.19	45.76	11.43

出所：上海市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

¹⁶ 利用・処理量は繰り越し保管量の利用・処理が含まれる。

¹⁷ 利用とは廃棄物を原材料または燃料として利用することを指す。

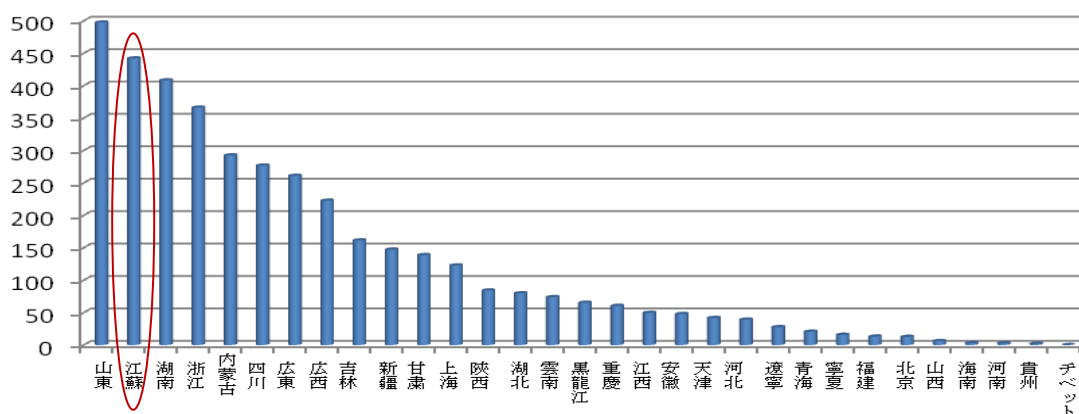
¹⁸ 処理とは焼却または固形廃棄物の物理的、化学的、生物的特性を変化させる方法を通じて固形廃棄物の数量、体積を減少させ、危険成分を減少または除去すること、または固形廃棄物の環境規制要件を満たす埋立場で埋め立てること。

¹⁹ 排出企業自ら、危険廃棄物を回収、貯蔵、利用、処理する場合、許可は不要だが、国の危険廃棄物関連規定（回収、貯蔵、利用、処理などの方法）に適合する必要がある。

2.2 江蘇省における危険廃棄物の排出量と処理量の現状

江蘇省の危険廃棄物の排出量は中国各省市の中で、山東省に続いて2番目に多い。江蘇省の中でも、基礎化工及び電子産業が発展している蘇州市、無錫市、南通市の危険廃棄物の排出量は特に多く、この3市の排出量は江蘇省の危険廃棄物排出量全体の6割程度を占めている。

図表 2-2-1 2017年度中国各省市の危険廃棄物排出量（万トン）



出所：中国生態環境部の公表情報に基づきジェトロ作成

(1) 蘇州市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状

蘇州市では、近年危険廃棄物の排出量が増加している。2018年の排出量は156.4万トンに達し、2017年に比べて2割以上増加した。蘇州市における危険廃棄物のうち、7割以上は外部に処理を依頼しており、排出企業自ら処理を行ったのは2割程度にとどまる。

図表 2-2-2 蘇州市における危険廃棄物の排出量と処理状況の推移（万トン）²⁰

項目	排出量	排出企業の 自己処理量	外部委託処理 量	保管量
2014年	81.8	7.66	70.89	3.25
処理方式の割合	—	9.36%	86.66%	3.97%
2015年	91.97	10.24	80.49	1.24
処理方式の割合	/	11.13%	87.52%	1.34%
2016年	97.38	15.38	82.96	6.45
処理方式の割合	—	15.79%	85.19%	6.62%
2017年	129.2	28.7	93.9	6.6
処理方式の割合	—	22.21%	72.68%	5.12%
2018年	156.4	30.6	120.21	5.59
処理方式の割合	—	19.56%	76.85%	3.57%

出所：江蘇省生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

²⁰ 処理量は繰り越し保管量の処理が含まれる。

蘇州市の危険廃棄物排出量トップ5社による2017年の合計排出量は25.77万トン、市全体の年間総排出総量の16.48%を占めている。

図表 2-2-3 2018年蘇州市の危険廃棄物主要排出企業（トップ5）

番号	企業名	所在地	排出量 (万トン)
1	浦項(張家港)ステンレス股份有限公司	常熟市	9.27
2	燁輝(中国)科技材料有限公司	昆山市	4.72
3	南亜電路板(昆山)有限公司	昆山市	4.27
4	陶氏シロキサン(張家港)有限公司	蘇州工業園区	4.09
5	昆山鼎鑫電子有限公司	昆山市	3.42
合計			25.77

出所：蘇州市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

また、蘇州市における主要な危険廃棄物は主に銅を含有する廃液等の廃棄物、表面処理加工後の廃棄物である廃酸、表面処理廃棄物、焼却残渣などである。

図表 2-2-4 2018年蘇州市主要危険廃棄物類別（トップ5）

危険廃棄物名称	危険廃棄物類別	排出量(万トン)
含銅廃棄物	HW22	40.55
廃酸	HW34	24.02
表面処理廃棄物	HW17	24.00
焼却残渣	HW18	11.29
その他廃棄物	HW49	9.11
合計	—	108.97

出所：蘇州市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

(2) 無錫市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状

近年、無錫市における危険廃棄物の排出量は増加し続けている。2018年の排出量は87.16万トンで、2014年比で5割以上増えた。

図表 2-2-5 無錫市における危険廃棄物の排出量と処理情況の推移²¹ (万トン)

項目	排出量	利用量	処理量	保管量
2014年	54.63	38.51	16.12	—
処理方式の割合	—	70.49%	29.51%	—
2015年	51.82	35.8	16.02	—
処理方式の割合	/	69.09%	30.91%	—
2016年	67.29	39.39	27.9	—
処理方式の割合	—	58.54%	41.46%	—
2017年	84.1	40.35	33.84	11.58
処理方式の割合	—	47.98%	40.24%	13.76%
2018年	87.16	30.46	55.16	1.54
処理方式の割合	—	34.95%	63.28%	1.77%

²¹ 利用量及び処理量は繰り越し保管量の综合利用及び処理が含まれる。

出所：無錫市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

無錫市の危険廃棄物排出量トップ5社による2018年の合計排出量は28.87万トンで、全市年間総排出総量の33.12%を占めている。

図表 2-2-6 2018年無錫市の危険廃棄物主要排出企業（トップ5）

番号	企業名	所在地	排出量（万トン）
1	健鼎（無錫）電子有限公司	無錫市	9.38
2	瀚宇博德科技（江陰）有限公司	江陰市	7.14
3	無錫惠聯ゴミ熱電有限公司	無錫市	5.62
4	統盟（無錫）電子有限公司	無錫市	4.21
5	SK海力士半導体（中国）有限公司	無錫市	2.52
合計			28.87

出所：無錫市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

(3) 南通市における危険廃棄物の排出量と処理量の現状

近年、南通市における危険廃棄物の排出量は、大幅に増加し続けている。2018年の排出量は58.6万トンで、2015年比で3倍、2017年と比べても2割程度に増加している。

図表 2-2-7 2018年 南通市の危険廃棄物の排出・処理状況²²（万トン）

項目	排出量	利用量	処理量	保管量
2015年	18.64	11.15	6.55	0.94
処理方式の割合	—	59.82%	35.14%	5.04%
2016年	24.14	13.54	8.58	2.02
処理方式の割合	—	56.09%	35.54%	8.37%
2017年	48.58	18.15	22.84	11.55
処理方式の割合	—	37.36%	47.02%	23.78%
2018年	58.6	18.4	31.9	8.8
処理方式の割合	—	31.4%	54.44%	15.02%

出所：南通市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

南通市の危険廃棄物の排出量のトップ5の企業による2018年の合計排出量は16.25万トン、市全体の年間総排出総量の27.71%程度を占めている。

図表 2-2-8 2018年南通市の危険廃棄物主要排出企業（トップ5）

番号	企業名	所在地	排出量（万トン）
1	南通南輝電子材料股份有限公司	南通市	6.51
2	南通海星電子股份有限公司	南通市	3.40
3	江蘇三瑛電子有限公司	海門市	2.34
4	江蘇立富電極箔有限公司	南通市	2.10
5	南通酢酸化工股份有限公司	南通市	1.89
合計			16.25

²² 処理量、利用量及び保管量は前年度からの繰り越し保管量の処理も含まれている。

出所：南通市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

また、南通市における主要な危険廃棄物は主に表面処理加工後の廃棄物である廃酸、焼却残渣、有機溶剤廃棄物、蒸留残渣などである。

表 2-2-9 2018 年南通市主要危険廃棄物類別（トップ 5）

危険廃棄物名称	危険廃棄物類別	排出量（万トン）	割合（%）
廃酸	HW34	20.55	35.07
焼却残渣	HW18	12.35	21.08
有機溶剤廃棄物	HW06	5.68	9.69
蒸留残渣	HW11	4.01	6.84
農薬廃棄物	HW04	3.37	5.76
合計	—	45.96	78.44

出所：南通市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

2.3 浙江省

2018 年の浙江省の危険廃棄物の排出量は中国各省市の中で、山東省、江蘇省、湖南省に続いて 4 番目である。浙江省の第 2 次産業 GRP も江蘇省、広東省、山東省に続いて 4 番目であり、民営企業による流通経済が最も発展している地域で幅広い分野の産業が存在している。その中でも、寧波市と杭州市で省全体の危険廃棄物排出量の 5 割程度を占めている。

(1) 寧波市

近年、寧波市における危険廃棄物の排出量は増加傾向にある。2018 年の排出量は 123.9 万トンに達し、2017 年より 2 割程度増加している。2015 年、寧波市政府は「寧波市の危険廃棄物と汚泥処理に対する監督管理の更なる強化事業に関する実施方案」を打ち出し、2017 年までに、危険廃棄物の無害化処理率を 100%とする目標を定めた。寧波市の危険廃棄物の無害化処理率（利用率+処理率）は 2016 年に 100%を達成している。

図表 2-3-1 寧波市における危険廃棄物の排出量と処理情況の推移²³（万トン）

項目	排出量	利用量	処理量	保管量
2014 年	69.58	35.28	34.05	1.38
処理方式の割合	—	50.70%	48.93%	1.98%
2015 年	63.51	38.73	24.57	1.18
処理方式の割合	—	60.98%	38.69%	1.86%
2016 年	80.88	80.88		0
処理方式の割合		100%		
2017 年	103.2	103.2		0
処理方式の割合		100%		
2018 年	123.90	123.9		0
処理方式の割合		100%		

出所：寧波市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

²³ 利用量及び処理量は繰り越し保管量の総合利用及び処理が含まれる。

寧波市における主要な危険廃棄物は、廃酸、化工廃棄物、生活ゴミ焼却フライアッシュ、表面処理汚泥などである。廃酸、化工廃棄物、生活ゴミ焼却フライアッシュは主に排出企業より自社処理が行われており、表面処理汚泥はすべて集中的に利用・処理されている。

(2) 杭州市

近年、杭州市における危険廃棄物の排出量は増加傾向にある。2018年の排出量は54.09万トンに達し、5年前の2014年の排出量の3倍以上、2017年比でも16%増加した。

図表 2-3-2 杭州市における危険廃棄物の排出量と処理情況の推移²⁴ (万トン)

項目	排出量	利用量	処理量	保管量
2014年	17.48	6.79	9.21	1.48
処理方式の割合	—	38.84%	52.69%	8.47%
2015年	23.90	8.63	13.89	3.29
処理方式の割合	—	36.11%	58.12%	13.77%
2016年	24.74	9.27	14.55	3.30
処理方式の割合	—	37.47%	58.81%	13.34%
2017年	46.58	35.72	11.54	1.52
処理方式の割合	—	75.23%	21.51%	3.26%
2018年	54.09	42.72	11.47	1.49
処理方式の割合	—	78.98%	21.21%	2.76%

出所：杭州市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

杭州市の危険廃棄物排出量トップ5社による2018年の合計排出量は43.25万トンに達しており、杭州市の年間総排出総量の6割以上を占めている。

図表 2-3-3 2018年杭州市の危険廃棄物主要排出企業 (トップ5)

番号	企業名	排出量 (万トン)	利用量 (万トン)	処理量 (万トン)	保管量 (万トン)
1	浙江巴陵恒逸己内酰胺有限責任公司	30.8211	30.8086	0.0125	0
2	光大環保能源(杭州)有限公司	3.9688	0.0005	3.9683	0
3	杭州蕭山城市綠色能源有限公司	3.7705	0	1.1292	2.6413
4	杭州蕭山錦江綠色能源有限公司	2.6023	1.5489	0	1.0534
5	浙江江銅富冶和鼎銅業有限公司	2.0881	1.8949	0	0.1932
合計		43.2508	34.2529	5.0975	3.8879

出所：杭州市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

²⁴ 利用量及び処理量は繰り越し保管量の総合利用及び処理が含まれる。

杭州市における主要な危険廃棄物は、焼却残灰、灰酸廃アルカリ、表面処理加工廃棄物、含銅廃棄物、蒸留スラグ、有機樹脂類廃棄物、化工類汚泥、含クロム廃棄物等となっている。

2.4 安徽省（合肥市）

安徽省における危険廃棄物の排出量は比較的少ない。2017年の統計では、安徽省の危険廃棄物の排出量は31省市の中で第19位であり、年間排出量は50万トン以下であった。安徽省内で危険廃棄物の排出量が最も多いのは省都の合肥市であり、合肥市の危険廃棄物の排出量は全省の2割程度を占めている。

近年、合肥市における危険廃棄物の排出量は、2017年まで年平均2割以上のスピードで増加し続けている。2018年の危険廃棄物の排出量は8.81万トンだったが、2018年より生活ゴミ焼却フライアッシュについては、当該統計に含まれなくなったため、フライアッシュを除いた数量で見ると、2017年度の8.25万トンと比べ、わずかに増加した。

図表 2-4-1 合肥市における危険廃棄物の排出量と処理状況の推移²⁵（万トン）

項目	排出量	利用量	処理量	保管量
2014年	3.86	3.48	0.30	0.13
処理方式の割合	—	90.16%	7.77%	3.34%
2015年	5.38	2.07	3.19	0.26
処理方式の割合	—	38.48%	59.29%	4.83%
2016年	6.77	1.75	4.8	0.22
処理方式の割合	—	25.85%	70.9%	3.25%
2017年	10.51	5.58	4.77	0.59
処理方式の割合	—	75.23%	21.51%	3.26%
2018年	8.81 ²⁶	8.68		0.13
処理方式の割合	—	98.52%		1.48%

出所：合肥市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

合肥市における主要な危険廃棄物は、有機溶剤廃棄物、廃酸、その他の廃棄物、染料塗料廃棄物、鉍物油廃棄物などである。これらの廃棄物の排出量の合計は全市の年間排出量の8割以上を占めている。

図表 2-4-2 2017年合肥市主要危険廃棄物類別（トップ5）

危険廃棄物名称	危険廃棄物類別	排出量（万トン）
有機溶剤廃棄物	HW06	3.83
廃酸	HW34	1.63
その他廃棄物	HW49	1.44
染料塗料廃棄物	HW12	0.42
鉍物油廃棄物	HW08	0.39
合計	—	7.71

²⁵ 利用量及び処理量は繰り越し保管量の総合利用及び処理が含まれる。

²⁶ 2018年度のデータは生活ゴミフライアッシュを除いた排出量である。

出所：合肥市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

合肥市の危険廃棄物排出量トップ5社による2018年の合計排出量は4.03万トン、合肥市の年間総排出総量の5割程度を占めている。

図表 2-4-3 2018年合肥市の危険廃棄物主要排出企業（トップ5）²⁷

番号	企業名	排出量 (万トン)	利用量 (万トン)	処理量 (万トン)	保管量 (万トン)
1	安徽安貝爾合成革有限公司	1.68	1.68	0.00	0
2	合肥鑫晟光科技有限公司	0.74	0.60	0.13	0.01
3	通威太陽能（合肥）有限公司	0.67	0.62	0.05	0
4	安徽広源科技發展有限公司	0.53	0.38	0.14	0.01
5	安徽宏源鉄塔有限公司	0.41	0.41	0.00	0
合計		4.03	3.69	0.32	0.02

出所：合肥市生態環境局の公開情報に基づきジェトロ作成

3. 地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況

2019年7～8月にかけて、江西省、寧夏自治区などで省を跨ぐ危険廃棄物の移転申請が拒否される事例があったことから（事例は下記枠内参照）、危険廃棄物の地域を跨ぐ処理の今後に対する業界関係者の懸念を引き起こした。危険廃棄物の省を跨ぐ処理が必要とされる要因として、①危険廃棄物処理利用の供給と需要に地域的な乖離があり、特に焼却、埋め立てなどの無害化処理は沿海部から中部地域へ移転する傾向を示している、②危険廃棄物の資源化再利用は強い専門性が要求されるため、例えば貴金属の回収は河南、江西などの地域に集中していることなどが挙げられる。ただし、環境規制がますます厳しくなっている中、各省市は汚染防止のために危険廃棄物の移入に次第に慎重になっている。

1. 陝西未来能源化工有限公司は2.3万トンの蒸留残渣を寧夏龍江化工科技有限公司に処理を依頼するため、省を跨ぐ移転の申請を提出したが、寧夏回族自治区生態環境庁に拒否された。
2. 華能寧夏大坝發電有限公司は100トンの廢脱窒素バナジウムチタン触媒を河南格林沃特環保科技有限公司に処理を依頼するため、省を跨ぐ移転を申請したが、河南省固形廢棄物管理センターに拒否された。
3. 天能集團（河南）能源科技有限公司は1,500トンの鉛スライムを九江滙金金属材料有限公司に処理を依頼するため、省を跨ぐ移転の申請を提出したが、江西省生態環境庁に拒否された。

中央政府の政策から見ると、危険廃棄物の省を跨ぐ移転に対して厳しい規制をかける傾向はない。2017年12月に公表された「危険廃棄物移転管理弁法（改正草案）（意見徴収稿）」²⁸第十四条では「省、自治区、直轄市の間で危険廃棄物の利用処理の地域協力を展開することを奨励する。長期協力協議などの方法を通して、区域性的危険廃棄物集中利用

²⁷処理量、利用量及び貯蔵量には前年度からの繰り越し保管量の処理も含まれている。

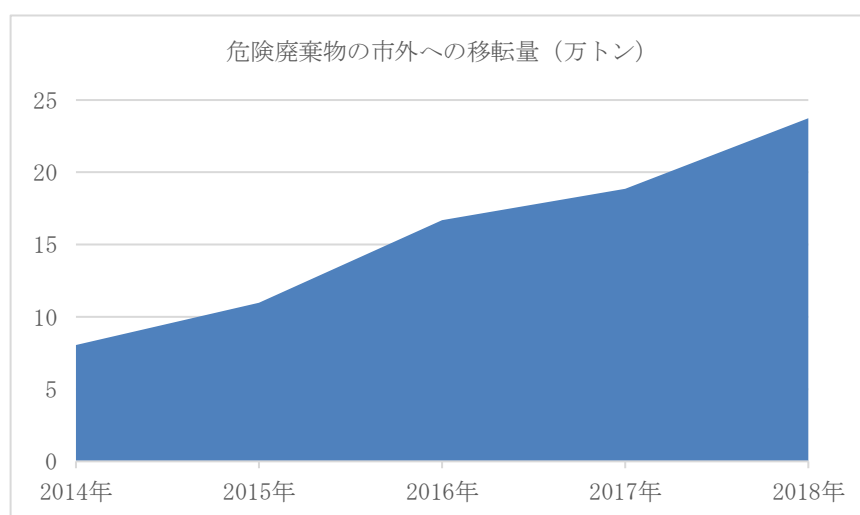
²⁸ 2020年3月時点では「危険廃棄物移転管理弁法」の正式の改正案がまだ公表されていない。

処理機構へ危険廃棄物を移転する場合、あるいは処理の便利性のために付近の省、自治区、直轄市の間で危険廃棄物を移転する場合、省、自治区、直轄市の危険廃棄物移転の許可審査の手続きを簡略化することができる」と定めている。ただし、地方政府は地方の利益を守るため、危険廃棄物の地域を跨ぐ移転に対する各地方政府の態度は大きく異なる。全国的にみれば江蘇省、福建省などの危険廃棄物排出大省では、自省の処理圧力を緩和するために、危険廃棄物の地域を跨ぐ処理の促進に積極的であるが、新疆ウイグル自治区、安徽省、河北省、河南省、山東省、湖南省、海南省、貴州省、寧夏回族自治区などの危険廃棄物の主な受入地域では、2017年から省外の危険廃棄物を自省に貯蔵、焼却、埋め立てのために移転することを禁止しており、省を跨ぐ資源化利用を厳しく規制する政策を打ち出している。

3.1 上海市の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況

上海市は中国の省市の中で、数少ない危険廃棄物の純転出地区であり、市外の危険廃棄物の移入はほぼゼロである一方、危険廃棄物の市外への移転量は年々増え続けている。

図表 3-1-1 上海市における危険廃棄物の市外への移転状況

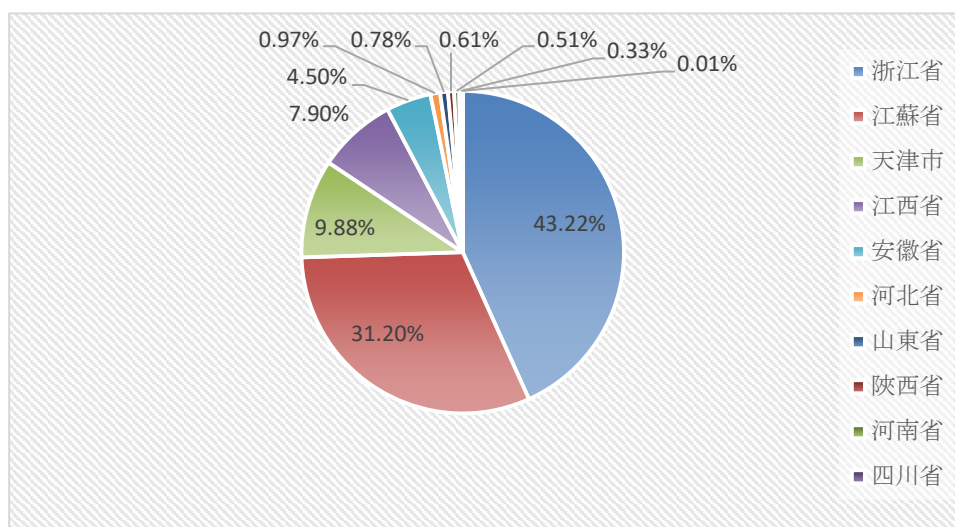


出所：ジェットロ

上海市の市外へ移転される危険廃棄物は主に表面処理廃棄物（HW17）、廃酸（HW34）及びその他危険廃棄物（HW49）であり、これらの危険廃棄物の移転量は市外への移転総量の6割以上を占めている。そのほか、上海市では、金属含有ヒドロキシ化合物廃棄物（HW19）及び鉍含有廃棄物（HW30）などの処理能力がなく、市外への移転に依存している。

上海市の危険廃棄物の7割程度は同じく長江デルタにある浙江省、江蘇省、安徽省に移転されている。

図表 3-1-2 上海市における危険廃棄物の市外への移転先（2015 年）



出所：上海市固形廃棄物管理センターの情報に基づきジェトロ作成

3.2 江蘇省の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況²⁹

江蘇省は危険廃棄物の排出量が多く、危険廃棄物の省外からの移入量及び省外への移出量とも比較的多い。2017 年のデータには、省外への移出量は 150.49 万トンで、省外からの移入量は 40.59 万トンであり、ネットの移出量は約 110 万トンに達している。

江蘇省の危険廃棄物の主な移出先は浙江省、安徽省及び江西省である。省外へ移転された危険廃棄物は主に、その他危険廃棄物（HW49）、廃触媒（HW50）及び焼却残渣（HW18）である。

一方、江蘇省の危険廃棄物の主な移入元は浙江省（56%）、山東省（32%）、安徽省（6%）である。移入された危険廃棄物は主に、水銀含有廃棄物<HW29>（70%）、蒸留残渣<HW11>（16.6%）である。

3.3 浙江省の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況³⁰

浙江省は危険廃棄物のネットの移出量は中国各省市の中で最も多く 2017 年では 129 万トンに達した。2017 年には、省外への移出量は 180.95 万トンで、省外からの移入量は 51.95 万トンであった。

浙江省の危険廃棄物の主な移出先は安徽省、江西省及び江蘇省である。省外へ移転された危険廃棄物は主に、その他危険廃棄物（HW49）、表面処理廃棄物（HW17）及び有色金属

²⁹ 江蘇省の危険廃棄物の移転データは 2017 年の統計データである。

³⁰ 浙江省の危険廃棄物の移転データは 2017 年の統計データである。

製錬廃棄物（HW48）であり、2017年にはそれぞれの移出量は90.6万トン、57万トン、13万トンであった。

一方、浙江省の危険廃棄物の主な移入元は江蘇省である。移入された危険廃棄物は主に、表面処理廃棄物（HW17）、銅含有廃棄物（HW22）及び焼却処残渣蒸留残渣（HW18）であり、2017年の移入量はそれぞれ16.9万トン、11.5万トンと10.7万トンであった。

3.4 安徽省の地域を跨ぐ危険廃棄物の処理状況³¹

安徽省は長江デルタ地域で唯一の危険廃棄物移入量が移出量より多い地域である。中国全国の省市の中で、安徽省の危険廃棄物の移入量は最も多く、2017年では119.87万トンに達した。安徽省から省外への危険廃棄物の移出量は比較的少なく、2017年では10.95万トンであった。

安徽省の危険廃棄物の主な移出先は河北省、寧夏自治区及び河南省である。省外へ移出された危険廃棄物は主に、有色金属製錬廃棄物（HW48）、その他危険廃棄物（HW49）、蒸留残渣（HW18）であり、2017年の移出量はそれぞれ4.12万トン、3.08万トン、1.5万トンであった。

一方、安徽省の危険廃棄物の主な移入元は危険廃棄物の排出量の最も多い浙江省のほか江蘇省、山東省等である。移入された危険廃棄物は主に、その他廃棄物（HW49）、鉛廃棄物（HW31）、表面処理廃棄物（HW17）であり、2017年の省内への移入量はそれぞれ72.3万トン、20.6万トン、12.3万トンであった。

3.5 危険廃棄物の地域を跨ぐ移転に関する最新政策動向

2019年10月15日、生態環境部は「危険廃棄物の環境監督管理能力、利用処理能力または環境リスク拡大防止能力の向上に関する指導意見」を公表した。同意見では、「省域内の利用・処理能力と需要が全体的に適合し、省域間で協同合作し、特種な類別の危険廃棄物については全国レベルで調整する」という危険廃棄物処理システムの確立を促進する方針を打ち出した。

各省レベル生態環境部門は2020年末までに危険廃棄物の排出、利用・処理能力及び施設の稼働状況の評価したうえで、科学的に危険廃棄物集中処理施設の建設計画を策定・実施し、地方政府が危険廃棄物集中処理施設を地元の公共インフラ施設に取り込み、危険廃棄物の集中焼却と埋め立て処理施設について、税収からの資金投入や建設用地の確保などに対して政策面の保障を与えるとしている。

³¹安徽省の危険廃棄物の移転データは2017年の統計データである。

特に長江デルタ地域に関して、「危険廃棄物の集中処理区域の協力について、省市を跨ぐ共同計画を展開し、危険廃棄物の集中処理能力を共有すべきである」として、「白色リスト」方式で、危険廃棄物の省を跨ぐ移転に対する審査・許可を簡略化する方法を検討する方針を示すとともに、「危険廃棄物の地域を跨ぐ移転処理の生態環境保護補償メカニズムの確立を促すべきである」と指摘した。2019年に打ち出された「長江デルタ区域一体化発展計画綱要」により、長江デルタの危険廃棄物処理の区域合作がさらに強化される見込みである。

4. 危険廃棄物関連処罰事例

①江蘇省泰興市友聯差精細化工有限公司の危険廃棄物の不法投棄案件

◆ 案件経緯

江蘇省泰興市友聯差精細化工有限公司はモノシアンミド溶液の生産企業で、大量のシアン化物を含む産業廃棄物残渣を排出している。

2017年4月から7月にかけて、法定代表者徐氏と総合部主任黄氏の手配の元、3,852.6トンの危険廃棄物残渣を戴氏氏に譲渡し、処理を依頼した。戴氏氏は固体廃棄物運搬者を雇って、残渣を泰興市張橋鎮薛荘村に投棄させた。

2017年12月に、江蘇省泰興市友聯差精細化工有限公司は4,133.64トンの残渣を王氏と劉氏に譲渡し、処理を依頼した。劉氏は薛荘村の元支部書記³²印氏の同意を得て、残渣を薛荘村に運んで、魚の養殖池に投棄した。

◆ 処罰状況

長期間の調査を経て、2019年6月、泰興市法院は一審判決を下した。

- ✓ 泰興市友聯差精細化工有限公司に対し800万元の罰金刑に処するとともに、犯罪違法所得430万元を没収する。
- ✓ 徐氏及びその他7人に対し、4年3ヶ月から2年2ヶ月の懲役刑と罰金の処罰を与えた。
- ✓ その他の24人の関係者に対しては猶予期間が付いた2年6ヶ月以下の懲役刑、罰金などの処罰を与えた。

*企業は発生した危険廃棄物を処理資格許可のある企業に処理を依頼しなければならない。処理費用を節約するために資格許可のない企業、個人に処理を依頼する場合、企業または責任者ともに厳しく処罰されるリスクがある。

³²中国の村には共産党支部を設置し、支部書記はその党支部のトップである。

②海安市角斜鎮何通本昇生物科技有限公司 危険法廃棄物の不法投棄案件

◆ 案件経緯

2017年3月から2018年1月にかけて、海安市角斜鎮何通本昇生物科技有限公司の責任者の馬氏、武氏等は不法利益を獲得するため、会社から発生した2万トン余りの廃酸を会社北側の長江支流に直接排出し、流域の汚染をもたらした。同案件は2018年5月に公安部より公表された6件の長江流域生態環境破壊典型案例にリストアップされた。

◆ 処罰状況

法に基づき、海安市角斜鎮何通本昇生物科技有限公司の責任者の馬氏、武氏等8名の犯罪容疑者が起訴された。

*会社の環境責任者は危険廃棄物の規範化処理に責任を負う。環境違反行為がある場合、会社への処罰を招くほか、自分自身も犯罪者になり、刑事的責任が問われるリスクがある。

③江蘇省儀征市中国石化儀征化織有限責任会社の危険法廃棄物の不法貯蔵案件

◆ 案件経緯

江蘇省儀征市中国石化儀征化織有限責任会社は2017年に発生した危険法廃棄物残渣を規定に基づいて、危険法廃棄物収集処理センターに移転して処理することをせずに、自社の実験作業場内に200バレルの危険法廃棄物残渣(約6トン)を貯蔵した。その保管条件は法規に定められた危険法廃棄物の処理、貯蔵要件を満たさなかった。

◆ 処罰状況

同会社は是正命令を受け、危険法廃棄物の臨時貯蔵施設を新規に建設し、上述の危険法廃棄物を臨時貯蔵施設に移転貯蔵して、標識レベルや台帳等を関連要求に基づき整備した。同時に正規の処理資格のある企業と危険法廃棄物の処理協議書を締結した。

2018年7月、儀征市環境保護局は以下の処罰を下した。

- ✓ 中国石化儀征化織有限責任会社に対し、10万元の罰金を科す。
- ✓ 同会社の曾元、吳向東、王輝等の9名の責任者に対し、警告などの行政処分を下した。

*「固形廃棄物汚染環境防止法」では、「危険法廃棄物の貯蔵期限は1年を超えてはならず、貯蔵期限を延長する必要がある場合は、環境保護部門に報告し、許可を得る必要がある」と定めている。また、危険法廃棄物の臨時貯蔵施設の要件についても法に定めているため、関連規定に基づき、危険法廃棄物の貯蔵、処理を行う必要がある。違法行為があると指摘された場合に、速やかに改善対策を検討、実施することは処罰の軽減につながる。

④江蘇武進不銹股份有限公司の露天貯蔵案件

◆ 案件経緯

2018年4月16日、常州市環境保護局が立入検査を行ったところ、江蘇武進不銹股份有限公司の酸洗汚泥（HW17）が露天で堆積され、堆積場所に有害廃棄物識別マークが設置されていなかったことを発見した。同会社の行為は「固形廃棄物汚染環境防止法」第33条第一項及び第五十二項の規定違反に該当した。

常州市環境保護局は江蘇武進不銹股份有限公司が効果的な措置を講じて、積極的に違法行為を是正したことを考慮して、処罰を軽減することを決定した。

◆ 処罰状況

常州市環境保護局は江蘇武進不銹股份有限公司の酸洗汚泥の露天堆積の違法行為に対し、3万元の罰金、酸洗汚泥堆積場所に危険廃棄物識別マークを設置しなかった行為に対し、3万元の罰金を科し、全部で6万元の罰金を科すとともに15日以内に違法行為を是正することを命じた。

*危険廃棄物を露天堆積や保管場所に危険廃棄物識別マークを設置しないなどの行為は違法になるので、注意する必要がある。また、環境部門の立入検査などで違法問題が指摘された場合、積極的に対応することが処罰の軽減に繋がることもある。

⑤上海雲瀛複合材料有限公司が処理資格のない企業に危険廃棄物処理を委託した違法案件

◆ 案件経緯

2016年3月から2017年12月にかけて、上海雲瀛複合材料有限公司総経理の乔氏と鋼板洗浄廃液の処理責任者の陶氏は貢氏が危険廃棄物の経営許可証を持っていないことを知っていながら、危険廃棄物移転マニフェストを記入せず、関係部門の許可を得ずに、上海市の宝山工業園区にある工場で発生した鋼板洗浄廃液を貢氏に渡して、江蘇省常州市に運んで処理させた。2017年2月から2017年12月までの間、貢氏は数回にわたり上海雲瀛複合材料有限公司の洗浄廃液を常州市内で不法投棄し、その量は67.33トンに達した。

◆ 処罰状況

2018年8月9日、同違法案件は立案調査され、2018年12月17日に江蘇省常州市武進区法院による判決が出された。

- ✓ 上海雲瀛複合材料有限公司は環境汚染で有罪判決を受け、30万元の罰金が科された。
- ✓ 貢氏は環境汚染で有罪判決を受け、1年3ヶ月の懲役と5万元の罰金を科された。
- ✓ 会社総経理の乔氏と処理責任者の陶氏は環境汚染で有罪判決を受け、執行猶予2年、懲役1年を科されるとともに5万元の罰金を科された。同時に、乔氏と陶氏は執行猶予期間に汚染排出関連の仕事に従事することが禁止された。

*乔氏と陶氏は、危険廃棄物は資格許可を持っている事業者処理を依頼しなければならず、省を跨ぐ危険廃棄物を移転する場合、危険廃棄物移転マニフェストを記入し、関係部門の許可を得る必要があることを理解していたにもかかわらず、表面上は資格許可を持っている危険廃棄物処理事業者と契約を締結し、実際には資格のない会社に危険廃棄物を渡して、鋼板洗浄廃液を常州市に運び、不法投棄させ、環境汚染をもたらしたため厳しい処罰を受けた。

5. 企業へのアドバイス

中国固形廃棄物汚染防止法では、危険廃棄物の取扱に関する違法行為または相応の罰則を定めている。危険廃棄物の取扱企業はそれを参照して問題がないかをチェックする必要がある。

図表 5-1 危険廃棄物関連環境汚染行為に関する罰則(抜粋)

NO.	違法行為	現行「固形廃棄物 環境汚染防止法」 の罰則	「固形廃棄物環境汚染 防止法」改正法(意見徴 収稿)の罰則
1	有害廃棄物の識別マークがない	1～10 万元の罰金	2～20 万の罰金
2	国の規定に基づき、危険廃棄物の管理 計画を策定しなかった場合	無	2～20 万元の罰金
3	危険廃棄物を不法排出、投棄、処理し た場合	無	10～100 万元の罰金
4	国の規定に従い、危険廃棄物を申告及 び登録しなかった場合、または申告及 び登録中に情報を偽造した場合	1～10 万元の罰金	2～20 万元の罰金
5	有害廃棄物の集中処理施設及び場所 を許可なしに閉鎖、遊休または解体し た場合	2～20 万元の罰金	10～100 万元の罰金
6	企業が発生した危険廃棄物を処理資 格許可のない企業に提供あるいは処 理を依頼した場合	2～20 万元の罰金	10～100 万元の罰金
7	国の規定による危険廃棄物移転マニ フェストの記入の不履行、または許 可なく危険廃棄物を移転した場合	2～20 万元の罰金	10～100 万元の罰金
8	危険廃棄物を非危険廃棄物に混合し て貯蔵した場合	1～10 万元の罰金	2～20 万元の罰金
9	安全処置せずに、危険廃棄物を混合し て収集、貯蔵、輸送及び処理した場合	1～10 万元の罰金	2～20 万元の罰金
10	危険廃棄物の収集、貯蔵、輸送、処理 場所または施設、設備、容器などを、 汚染を除去せずに、その他の用途に使 用した場合	1～10 万元の罰金	2～20 万元の罰金
11	適切な予防措置を講じずに、危険廃棄 物の分散、紛失、漏出またはその他の	1～10 万元の罰金	2～20 万元の罰金

	環境汚染を引き起こした場合		
12	危険廃棄物の突発事故防止措置と応急予備方を策定しなかった場合	1～10 万元の罰金	2～20 万元の罰金

この他、①事業者が資格許可を持っていないか、資格許可の範囲を超えていることを知りながら、危険廃棄物を当事業者に提供、または収集、貯蔵、利用、処置を依頼し、深刻な環境汚染をもたらした場合、②3 トン以上の危険廃棄物を不法排出、投棄、処理した場合については、「環境汚染の刑事事件の取扱における法律の適用に関するいくつかの問題の解釈（法釈（2013）15号）」を根拠に、環境汚染罪の共同犯罪者として法的責任を追及される場合がある。

6. 危険廃棄物処理機構リスト

各省市では生態環境部局が、各省市において危険廃棄物経営許可証を所持する事業者等のリスト及び各事業者等の処理できる危険廃棄物の種類、処理規模などを公表している。

(1) 上海市

上海市生態環境局が 2020 年 2 月 3 日に公表

<http://sthj.sh.gov.cn/shhj2103/shhj2112/2011/09/40427.htm>

(2) 江蘇省

江蘇省生態環境庁が 2019 年 6 月 10 日に公表

http://hbt.jiangsu.gov.cn/art/2019/6/10/art_73975_8357696.html

(3) 浙江省

浙江省生態環境庁が 2019 年 12 月 17 日に公表

http://sthjt.zj.gov.cn/art/2019/12/17/art_1201832_41084933.html

(4) 安徽省

安徽省生態環境庁が 2020 年 1 月 14 日に公表

<http://sthjt.ah.gov.cn/pages/ShowNews.aspx?NType=1&NewsID=107160>

レポートをご覧いただいた後、アンケート（所要時間：約1分）にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20190042>

本レポートに関するお問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
上海事務所
E-mail：PCS@jetro.go.jp